

市政記者各位

令和5年8月23日
福岡市科学館

福岡市科学館ドームシアター
ドームシアター解説員が読み解く『銀河鉄道の夜』

2023年10月7日(土)にドームシアター解説員が読み解く『銀河鉄道の夜』を開催します。宮沢賢治の名作『銀河鉄道の夜』を天文学的な視点で解説。当時の宇宙観を紹介しながら、物語に登場する星や星座についてプラネタリウムでご案内します。



『銀河鉄道の夜』を天文学的な視点で見てもみませんか

宮沢賢治さんの代表作ともいえる『銀河鉄道の夜』。今から100年ほど前、1924年頃から執筆され、賢治さんの没後、草稿の形で遺された作品です。その当時、人々は宇宙をどのように捉えていたのでしょうか。当時の宇宙観を紹介しながら、物語に登場する星や星座についてご案内します。

解説：丹野佳代子（福岡市科学館 ドームシアター学芸員）

開催概要

STARRY NIGHT JAM vol.110 ドームシアター解説員が読み解く『銀河鉄道の夜』

日時 2023年10月7日(土) 17時30分-18時30分

対象 大人（推奨）

観覧料 自由席 中学生以上：810円（税込），小学生：510円（税込）

観覧券 【先行販売】 2023年9月9日(土)10時～10月6日(金)16時までWEB限定販売
【当日販売】 2023年10月7日(土)9時30分～
福岡市科学館3階総合案内/チケットカウンターにて販売
※WEB販売分が完売の場合も、1回につき20席分のチケットを当日販売します。

詳細 https://www.fukuokacity-kagakukan.jp/dome_theater/2023/08/milkywaytrain.html

参考

丹野 佳代子

福岡市科学館 学芸員

佐賀県佐賀市生まれ。佐賀県内公立学校で教鞭をとる。
佐賀県武雄市にある佐賀県立宇宙科学館の建設に際しては、プラネタリウム・天文台、宇宙関係の展示物の設計等をおこなう。佐賀県立宇宙科学館開館後は、科学館に勤務し、宇宙チームのリーダーとして、プラネタリウムや天文台の運営、番組制作、教育普及活動をおこなう。2008(平成20)年、天文教育普及に関する業績により、小惑星12411に「Tannokayo」と命名される。

佐賀県立博物館・美術館の学芸員を経て、現在は福岡市科学館に勤務し、ドームシアターリーダーとして、プラネタリウムの運営・番組制作等に当たっている。豊富な知識をバックボーンとした生解説は、星の語り部として、全国にファンも多い。プラネタリウム番組のナレーションや番組制作の監修も行っている。



STARRY NIGHT JAM(スターリーナイトジャム)とは

音楽、アート、映像、語りなど、毎回、各分野で活躍するゲストを招き、星空の下で味わう感動の体験、それが、ドームシアターイベント“STARRY NIGHT JAM”です。2017年10月の開館から定期的で開催し、昨年12月には開催100回を迎えました。今後もこのプラネタリウムでしか味わえない感動の体験をお届けすべく、さまざまなイベントを開催します。



お問い合わせ先



〒810-0044 福岡市中央区六本松4-2-1 福岡市科学館

担当：穴澤・崎山・衛藤

メール：pr.fcsm@fukuokacity-kagakukan.jp

電話：(092) 731-2525 (代表) FAX：(092) 731-2530

H P：<https://www.fukuokacity-kagakukan.jp>

